

第 6 回

出水市公共施設適正配置計画検討委員会

日時： 平成 27 年 3 月 27 日（金） 午後 2 時 30 分

場所： 出水市働く婦人の家

会 次 第

1 開会

2 会議録の確認について

3 審議事項

(1) シンボル事業について

4 その他

3 審議事項

(1) シンボル事業について

① 支所庁舎周辺施設統合事業

<第5回検討委員会の提案内容（抜粋）>

（理由）支所庁舎の整備に当たっては、支所機能を含む周辺施設の機能を統合する「複合化」を基本として議論を進めており、公共施設マネジメント事業との関連が大きいことから、シンボル事業として取り組みたい。

（委員会の役割）公共施設適正配置計画検討委員会において、周辺施設の統合の例と床面積削減の目安を決定することとし、スペースの構成等については支所庁舎建設検討委員会において決定することとしたい。

（スケジュール） 平成28年度 基本計画等
 平成29年度 設計業務
 平成30～32年度 建設工事

ア 高尾野

現状			<ケース1>			適正配置後		
区分	施設名称	面積	再配置	施設名称	面積	再配置	施設名称	面積
庁舎	高尾野支所	3,048㎡	支所、公民館、工芸館、図書館、資料館、福祉センター等の機能を有する複合施設を建設（一部廃止、民営化を含む。）	高尾野市民交流センター（仮称）	2,500㎡ （仮）	現状維持	高尾野農村環境改善センター	1,496㎡
社会教育	高尾野公民館	568㎡					合計面積	3,996㎡
社会教育	高尾野工芸館	230㎡					削減率	43%
高齢者福祉	高尾野老人福祉センター	531㎡						
図書館等	高尾野図書館	660㎡						
図書館等	高尾野郷土館・古城番台コレクション館	490㎡						
市民交流	高尾野農村環境改善センター	1,496㎡						
合計面積		7,023㎡						

現状 < ケース 2 > 適正配置後

区分	施設名称	面積	再配置	施設名称	面積
庁舎	高尾野支所	3,048 m ²	支所機能移転、公民館、工芸館、福祉センターの機能統合（一部廃止、民営化を含む。）	高尾野市民交流センター（仮称）	1,496 m ²
市民交流	高尾野農村環境改善センター	1,496 m ²			
社会教育	高尾野公民館	568 m ²			
社会教育	高尾野工芸館	230 m ²			
高齢者福祉	高尾野老人福祉センター	531 m ²			
図書館等	高尾野図書館	660 m ²			
図書館等	高尾野郷土館・古城画伯コレクション館	490 m ²			
合計面積		7,023 m ²	現状維持（今後、学校施設等と共用化等を検討）	高尾野図書館	660 m ²
				高尾野郷土館・古城画伯コレクション館	490 m ²
			合計面積		2,646 m ²
			削減率		62%

イ 野田

現状 < ケース 1 > 適正配置後

区分	施設名称	面積	再配置	施設名称	面積
庁舎	野田支所	2,532 m ²	支所、福祉センター等の機能を有する複合施設として新規建設	野田市民交流センター（仮称）	（仮）1,000 m ²
健康保健	野田保健センター	504 m ²			
健康保健	野田健康増進センター	529 m ²			
高齢者福祉	野田老人福祉センター	560 m ²			
農業施設	野田農産加工施設	173 m ²			
病院	出水総合医療センター野田診療所	2,332 m ²			
市民交流	野田農村環境改善センター	1,685 m ²			
図書館等	野田図書館	927 m ²	規模縮小	出水総合医療センター野田診療所	1,000 m ²
図書館等	野田史料館		現状維持	野田農村環境改善センター	1,685 m ²
				野田図書館	927 m ²
				野田史料館	
合計面積		9,242 m ²	合計面積		4,612 m ²
			削減率		50%

現状 < ケース 2 > 適正配置後

区分	施設名称	面積	再配置	施設名称	面積
庁舎	野田支所	2,532 m ²	支所を移転、老人福祉センター、健康増進センターを統合	野田市民交流センター（仮称） 野田診療所（旧保健センター）	1,685 m ²
市民交流	野田農村環境改善センター	1,685 m ²			
高齢者福祉	野田老人福祉センター	560 m ²			
健康保健	野田健康増進センター	529 m ²			
健康保健	野田保健センター	504 m ²			
農業施設	野田農産加工施設	173 m ²			
病院	出水総合医療センター野田診療所	2,332 m ²			
図書館等	野田図書館	927 m ²	規模縮小	出水総合医療センター野田診療所	1,000 m ²
図書館等	野田史料館		現状維持	野田図書館	927 m ²
				野田史料館	
合計面積		9,242 m ²	合計面積		3,612 m ²
			削減率		60%

< 支所庁舎建設検討委員会の提案内容（抜粋） >

ア 開催日

3月18日 高尾野支所庁舎建設検討委員会

3月24日 野田支所庁舎建設検討委員会

イ 支所庁舎建設検討委員会への提案内容

資料1のとおり

ウ 高尾野支所庁舎建設検討委員会の審議結果

- ・ ケース1が理想的である。
- ・ ケース1の方が良いと思うが、ケース2も悪くない。
- ・ 庁舎の一部を貸し付けて特産品売り場など設置できるようにできないか。
- ・ 駐車場を活用してイベントステージのようなものができないか。

【 結論 】

ケース1（＝新規建設）とし、どのような機能を複合した庁舎にするかについては、今後議論をする。

エ 野田支所庁舎建設検討委員会の審議結果

- ・ ケース2について、野田農村環境改善センターは老朽化しており、増改築してすぐ大規模修繕をするということになれば非効率であるため、できれば新規建設の方がよい。
- ・ 庁舎建設に当たっては、合併特例債だけに頼ることなく、その他国の財政的な支援を受けられるよう早めの取組が必要である。

【 結論 】

ケース1（＝新規建設）とし、どのような機能を複合した庁舎にするかについては、今後議論をする。

② 働く婦人の家・保健センター

<第5回検討委員会の提案内容（抜粋）>

（理由）働く婦人の家については、近隣に類似機能を持つ施設（出水市民交流センター、中央公民館等）が多く、それらの施設で定期講座等の実施が可能である。また、保健センターについては、機能拡充の必要性が高い。

以上のことから、保健センターとしてのスペースを2階部分に拡張することとして、シンボル事業として取り組みたい。

(スペース構成) 第5回検討委員会において、シンボル事業の取組の決定をいただいた後、第6回検討委員会において詳細なスペース構成案を提案したい。

(スケジュール) 平成28年4月から

<第6回検討委員会の提案>

次の課題点について整理した上で提案したい。

課題1

生涯学習事業全体の整理統合の方針を定めるべきではないか。

課題2

高尾野農業者健康管理センター、野田保健センターを含めた3保健センターの今後のあり方を先に決定すべきではないか(支所庁舎周辺施設統合事業との関連あり)。

③ 職業訓練施設

<第5回検討委員会の提案内容(抜粋)>

(理由) 施設の老朽化に伴い、様々な不具合箇所が出ており、安全面での不安もある。一方で、訓練内容としては座学中心であり、他の既存施設の有効活用により十分機能の継続が可能であることから、他施設への機能移転という手法でシンボル事業として取り組みたい。

(移転先) 第5回検討委員会において、シンボル事業の取組の決定をいただいた後、第6回検討委員会において移転先の候補案を提案したい。

(スケジュール) 平成28年4月から

<第6回検討委員会の提案>

ア 職業訓練協会の意向

大規模改修で多額の費用がかかることを考慮すれば、移転はやむを得ない。2市1町の中心という地理的な利便性を確保するために、移転先は野田地域内が望ましい。

イ 移転先の候補施設

現在利用されている職業訓練施設のスペース構成をもとに検討した結果、野田地域内にある野田農村環境改善センター2階を移転先候補施設と

したい。

ウ 移転に係る課題

(ア) 訓練校の認定基準

訓練校としての県の認定を受けられる要件の一つとして訓練生1人当たり1.65㎡確保する必要があるが、予定しているスペースで確保が可能である。

(イ) 指定管理者との協議

野田農村環境改善センターが指定管理施設であることから、平成28年4月の移転に向けて、今後、指定管理者と詳細な協議を進める。

(ウ) 公の施設としての位置付け

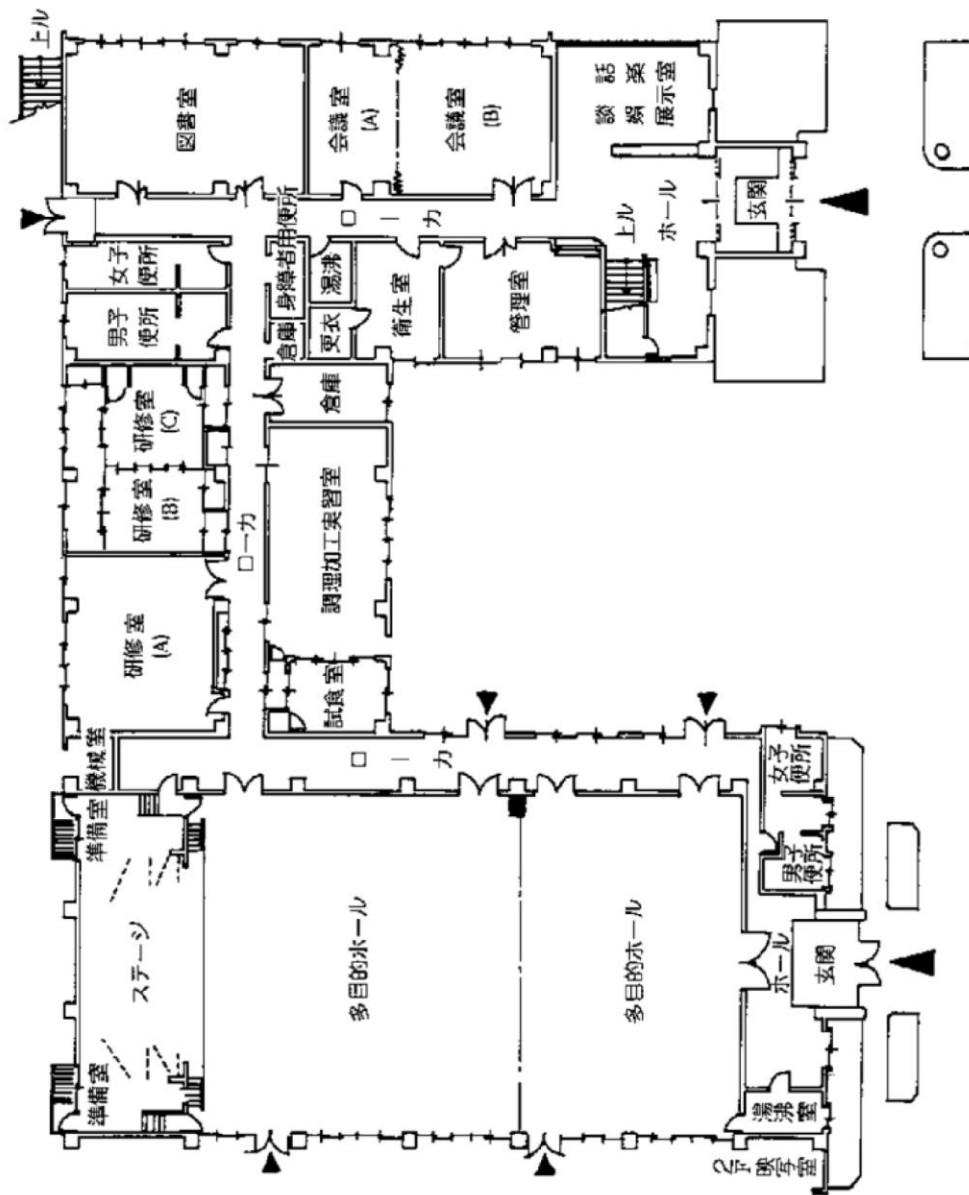
移転後も公の施設として位置付ける必要性の有無や貸付けにした場合のメリット、デメリットを今後精査する。

(エ) 職業訓練校の移転に伴う交付金の返還

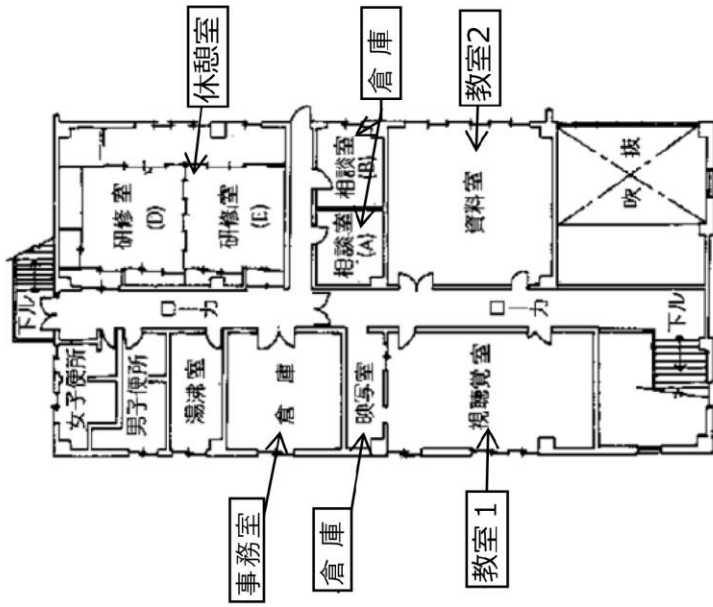
職業訓練校の移転に伴い校舎棟及び実習棟を用途廃止した場合に想定される返還額は、103万円程度が想定される。

(オ) 実習棟の位置付け

現在いずみ園が利用している実習棟の今後の利用のあり方について、普通財産への移行を含めて検討が必要である。



1 階 平面図



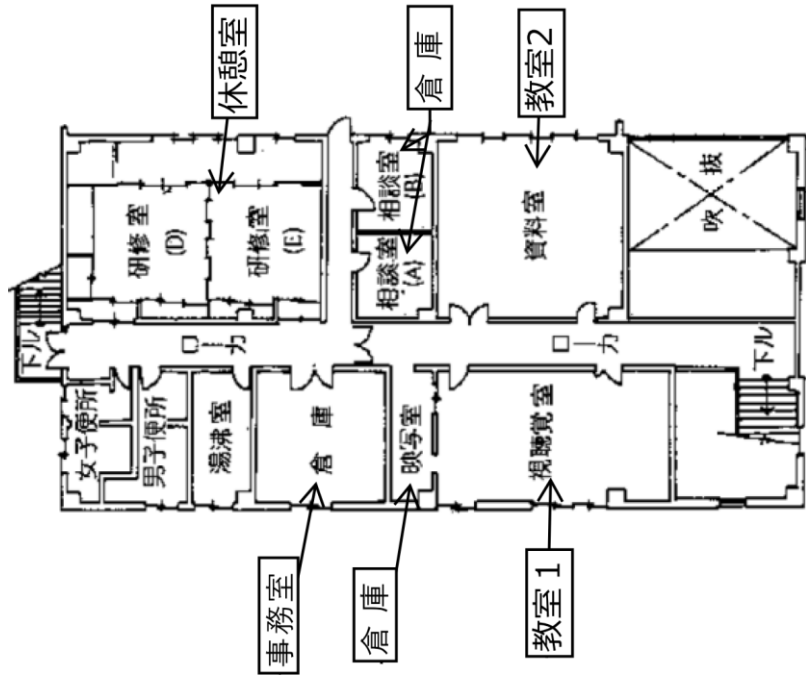
2 階 平面図

区分	面積 (㎡)	
	職業訓練施設	野田農村環境改善センター
事務室	21.40	27.00
教室1	56.00	50.76
教室2	80.00	51.84
休憩室	56.00	73.44
倉庫	80.00	31.32
計	293.40	234.36

休憩室



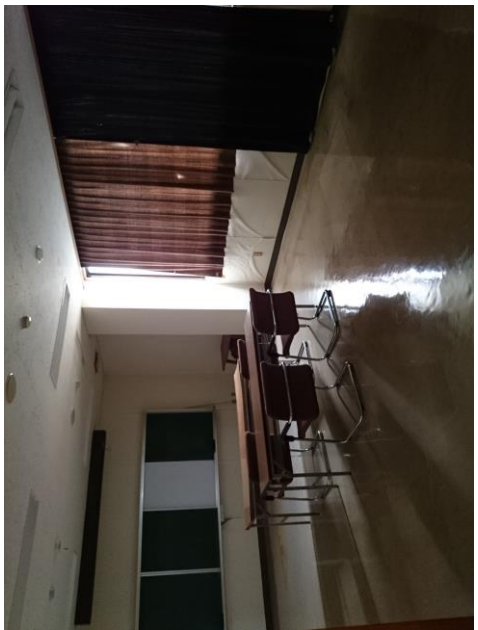
教室 2



事務室



教室 1



野田農村環境改善センター 利用状況（平成24年度）

利用団体の種別	件数 人数	1階				2階		合 計
		多目的 ホール	会議室 (A)	研修室 (B・C)	調理加工 実習室	会議室 (B)	研修室 (D・E)	
公共団体等（市・ 県・国等の機関、市 が会長等の要職を務 める実行委員会等）	件数	31	7	1	1	4	1	45
	人数	2,537	88	30	20	46	37	2,758
公共的団体（自治連、農 商工・教育・福祉団体、 文化協会、PTA等、法又は 市が支援する団体）	件数	107	61	13	4	56	17	258
	人数	2,961	795	178	44	678	292	4,948
NPO、まちづくり団 体、自主サークル	件数	9	13	2	2	4	0	30
	人数	665	240	63	45	62	0	1,075
スポーツ団体① 市、体育協会（地区 以上）、市が要職を 務める実行委員会等	件数	2	1	0	0	3	1	7
	人数	85	38	0	0	104	20	247
スポーツ団体② 部 活、スポーツ少年団 等で構成が高校生以 下主体の団体	件数	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ団体③ 一 般団体、自主サーク ル（個人利用含む）	件数	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0
合 計	件数	149	82	16	7	67	19	340
	人数	6,248	1,161	271	109	890	349	9,028

稼働率（時間帯ごとの延べ利用件数）

時間帯	曜日	1階				2階		合 計
		多目的 ホール	会議室 (A)	研修室 (B・C)	調理加工 実習室	会議室 (B)	研修室 (D・E)	
午 前 (8:30～12:00)	平日	20	35	6	7	10	1	79
	土日 祝日	5	1	1	1	2	1	11
午 後 (12:00～17:00)	平日	20	13	1	4	5	1	44
	土日 祝日	8	3	2	1	4	2	20
夜 間 (17:00～22:00)	平日	108	32	5	1	38	13	197
	土日 祝日	6	2	4	1	10	2	25
合 計	平日	148	80	12	12	53	15	320
	土日 祝日	19	6	7	3	16	5	56